

第3次渋川市総合計画策定に係る市民説明会における意見交換概要

1 日時 令和8年7月30日（木） 午後7時～午後8時25分

2 会場 赤城公民館

3 意見交換内容（参加者49人）

No.	意見	回答
1	人口減少の原因を究明し、効果的な対策を実施しながら、若者が住みたくなくなるような夢のあるまちづくりを進めてほしい。また、赤城地区では地域を挙げて地域資源を活用した地域振興ビジョンを検討している。このビジョンは赤城地区だけではなく市全体の発展に有益なものと考えている。今後、市に対して提言していく予定のため、行政と市民が議論できる場を今後も積極的に設けてほしい。	地域資源を活用しながらより良いまちづくりを進められるような計画策定に取り組みます。また、市民参画の機会としてワークショップなどを予定していますので、ぜひご参加ください。
2	人口減少が想定よりも悪化した場合、税収の見込みも悪くなると思うので、推計はパターンを分けて考えるべきではないか。	財政推計などは基本的に公の機関が示すものに基づいて推計しています。計画期間内において推計の基準に変更があればそれに即して対応をしていきます。
3	現総合計画の検証をした上で、新しい計画策定を進めてほしい	令和8年度中に現行計画の中間検証を行い、その検証結果を踏まえながら新しい総合計画の策定を進めます。
4	市民参画の機会にはできるだけ若い世代の参加を促し、そうした世代の意見を取り入れてほしい。	若い世代の意見を募ることは重要であり、課題でもありますので、中高生を対象としたアンケート調査や今後予定しているワークショップなどでそうした世代の意見を募っていけるよう取り組みます。
5	発展が進む地域と取り残される地域が出てくることを懸念している。そのため、新しい総合計画では、現総合計画にはない新しい取組として全ての市民が渋川市民で良かったと感じることができるようなものを追加し、取り残される地域がないようにしてほしい。	市民の満足度が高められるまちづくりができるよう、計画策定に取り組みます。
6	赤城地区の道路網整備を進めてほしい。	県や国と連携しながら計画的な道路の整備を進めていきます。

No.	意見	回答
8	小中学校の再編は市民意見をできるだけ多く取り入れてほしい。また。子どもたちがより良い環境で学べるようにしてほしい。	急激な人口減少に対応するため、小中学校の再編は早急に進めていく方針ではありますが、地域の意見を伺いながら検討を進めます。
9	学校から遠い地域ほど子どもが少なく、活性化しないと感じる。小中学校の再編は全国的な課題だと思うが、赤城地区に学校を残せるように検討してほしい。	小中学校の再編は今回とは別に説明会を設けますので、そうした場で地域の意見を伺いながら検討を進めていきます。
10	市の将来像には具体性がなく内容が分からない。	将来像はキャッチフレーズのようなかたちではありますが、具体的な取組は、実施計画に基づいて進めていきます。
11	現行の総合計画における赤城地区の基本方針に農業施策の推進が盛り込まれているが、計画どおりに進んでいないと感じる。新しい計画では着実に実行できるようにしてほしい。	遊休農地など課題はありますが、地権者の同意を得ながら土地改良による基盤整備などを行っています。また、農業政策に係る個別の計画を策定しているため、そうした個別の計画を農業者の意見を聞きながら見直していきます。
12	赤城地区の農業人口は多くなく、住宅地として需要が高いと思う。赤城地区で農業をいかしたまちづくりを進めるのは失敗ではないか。合併前の方がよかったと感じている人が多いと思うので合併してよかったと思える計画にしてほしい。	現行計画を検証した上で、実効性のある計画策定に取り組みます。
13	人口減少対策として遊休農地などを活用して若者向けの低価格の住宅団地を造成してほしい。	宅地も重要ではありますが、働く場所や交通網なども含めた環境づくりも重要となりますので、そうした全体な取組が進められるよう計画策定に取り組みます。

<備考>

本資料は、説明会において参加者からいただいたご意見の概要をまとめたものです。説明会の結果は別途、報告書にまとめ公表します。